

好天に恵まれ、多くの来場者でにぎわったキャンパス



ゼミやサークルがさまざまな模擬店で来場者を歓迎

2024石鳳祭

テーマ「旋風」

2024石鳳祭が10月12、13日に開催された。2日間とも秋晴れに恵まれ、多くの学生や地域の方が来場した。

メインステージでは、お笑い芸人やゲストバンドによるライブ、恒例のビンゴ大会などを実施。教室では理工学部生物科学科の学びを体験するサイエンスフェス、ゼミやサークルなどによる企画展示が行われた。模擬店・地場産品フェアも好評で、石巻専大生の生み出す活気が、地域を大いに盛り上げた。

大学祭に合わせてミニ・オープンキャンパスも行われ、多くの高校生が来場し、大学生生活の疑問を解消した。



育友会恒例の餅つきに挑戦する学生



学内外のバンドがステージで熱演



2日間を締めくくるとビンゴ大会



生物科学科の学びを体験するサイエンスフェス

■ミニ・オープンキャンパス



石巻専修大学

石巻専修大学
広報係
☎986-8580
宮城県石巻市
南境新水戸1番地
☎0225-22-7717(直)

最新の情報は大学HPで。

<https://www.senshu-u.ac.jp/isshinomaki/>

いしのまき祭り

石巻専大生×専大生

石巻の魅力東京で発信

石巻市の魅力を東京で発信する「いしのまき祭り」が10月27日、専修大学の神田キャンパス（東京都千代田区）で開催された。

このイベントは2023年に始まり、今年で2回目。会場には、松木健一理事長、本学の尾池守学長をはじめ、石巻市の齋藤正美市長も駆けつけた。多くの方が来場し、本学と専修大学の学生が考案したワークショップや企画展を楽しんだ。

本学からは14人の学生が参加した。大漁旗を使ったオリジナルカラビナ作りワークショップ（地域ブランド・FUN ADEとのコラボ企画）▽特



大漁旗で彩られたカラビナ作りワークショップブース



ふるさとCMの撮影や制作について説明する学生

った。
みやぎふるさとCM大賞の作品上映ブースでは、2023年度のエンタリー作品や「いしのまき祭り」用の特別映像を上映した。
ふるさとCMの制作に携わ



カイクとのコラボで特産品を販売した学生たち

った佐々木真斗さん（経営・岩手県宮古商工高）は「作品作りを通して知った石巻の良ところを、東京の人にも知ってもらいたい」と話した。石巻の美しい自然が興味をひき、最後まで映像を見てくれたうれしかった」と話した。



トークイベントで宮城県で働く魅力を語った白石さん（右から2人目）

みやぎものづくりカレッジ始動

県内製造業への就職をサポート

宮城県内の大学生と、ものづくり企業のマッチングを目指す「みやぎものづくりカレッジ」の開学式が10月31日、本学で開かれた。

みやぎものづくりカレッジは、製造業で働く人材の育成・確保を目的に、宮城県、一般社団法人みやぎ工業会、県内の4大学が連携して設立。理工系の学部を持つ本学、東北学院大学、東北工業大学、東北文化学園大学の学生を対象に、県内企業の優れた技術やユニークな取り組みを紹介するほか、企業説明会や見学会の開催、インターンシッ

プの受け入れを通じて地元企業への関心を高め、就職を後押しする。開学式では、参加大学を代表して尾池守学長があいさつ。1、2年次生を対象とした県内企業による講演会の実施など今後の予定を紹介し、産官との連携を通じた学びの充実と県内就職者の拡大に期待を寄せた。

第二部のトークイベントには、県内で働く4大学の卒業生が登壇した。就職指導部長の本田秀樹、理工学部教授がコーディネーターを務め、本学からはヤマセ電気（株）で活躍する白石凛さん（平30理工）が参加し、現在の仕事や地元で働く魅力を語った。

協定書を交わした安部校長（左）と尾池学長



今回の協定締結により、教員の派遣、大学と高校の授業への相互参加、教育上の諸課題に対する情報交換などを積極的に進める予定で、両校における教育交流のさらなる活性化が期待される。

東京・安部学院高と連携協定

石巻専修大学と安部学院高校（東京都北区、安部元彦校長）は、教育の力で開いた公開講座「石巻の育成を目的とした巻で学ぶ」をきっかけに連携協定を結び、9月19日より、出前授業などを通じて連携を深めてきた。

今回の協定締結により、教員の派遣、大学と高校の授業への相互参加、教育上の諸課題に対する情報交換などを積極的に進める予定で、両校における教育交流のさらなる活性化が期待される。